



～信更の子どもたちが、スズランの花のごとく明るく清らかに伸びてほしいとの願いを込めて～

校長室の窓

当たり前のごことに感謝の気持ちを！

校長 広川 芳守

2月14日 校長講話 より

東日本大震災からすでに7年が経とうとしています、震災のあった年の6月、新聞にこんな投書がありました。

「貧しい国の人たちに「今、幸せですか？」と尋ねると「今日のご飯が食べられたから幸せです」と答える。日本で同じことを尋ねても「幸せです」と答える人は多くはない。これは私が高校生の時に先生から聞いた話だ。きっと人は一度大きな幸せを知ると、それよりも小さな幸せを「幸せ」と考えられなくなるのだろう。しかし、東日本大震災をきっかけに、今までの「当たり前」を「幸せ」だと改めて思うことができた。支えてくれる人がいる。雨風をしのげる家がある。ご飯が食べられる。物事を学ぶことができる。これらは、当たり前のごことではなく「幸せ」なことだ。

私の住む地域では地震の影響はほとんどない。その中で私たちは大震災を忘れることなく、今ある「当たり前のごこと」に感謝しながら、一日一日を精一杯生きていく。「幸せですか」と聞かれ「幸せです」と笑顔で即答できる、そんな生き方をしたいと思う。

こういう投書でした。幸せかどうかは、当たり前のごことに感謝の心が持てるかどうかであると、投書された方は言っています。私もそのとおりだと思います。

「ありがとう」の反対の言葉はなんだと思いますか。「当たり前」だと思います。私たちの周りは、あまりにも当たり前になってしまっていて、有り難さを感じないことにあふれています。でも、そのどれもが当たり前のごことではありません。

以前、読んだ本で、とても心に残っている本があります。その本の著者は、池間哲郎（いけま てつろう）さんという、現在NPO法人アジアチャイルドサポートの代表理事を務めている方です。池間さんは20年ほど前、当時カメラマンとして訪れたアジアの貧しい地域で、そこに暮らす10歳ぐらいの女の子に「あなたの夢はなんですか？」と尋ねたそうです。するとその女の子はこう答えたそうです。「私の夢は、大人になるまで生きることです。」

心に突き刺さるような言葉です。その子が病気だからではありません。大人になれずに亡くなっていく子どもがたくさんいる、そんな過酷な環境の中で生活している子です。学校にはもちろん行っていません。ですが、明日も生きるために、今日一日を精一杯生きている子です。この子の言葉は、私たちの「当たり前」を根底からひっくり返すような言葉です。

著者の池間さんは、この言葉を聞いて人生が変わるほどの衝撃を受けたと書いています。そして、今までの自分の生き方を振り返り、涙が止まらなかったそうです。そして、今日一日を真剣に、精一杯生きていく決意をします。私も、この本を読んで全く同じ気持ちになりました。不平不満を言うよりも、当たり前のごことに感謝して、今日一日を精一杯生きなければいけない。そう思いました。

ご飯が食べられること、勉強ができること、仲間がいること、帰る家があること、家族がいること。こうしたことのどれもが、当たり前のごことではありません。「当たり前のごこと」に「感謝の気持ち」が持てると、今日、一日を精一杯生きようという気持ちになります。困難なことがあっても、頑張ろうという気持ちになります。

さあ、平成29年度もいよいよ大詰めに迎え、卒業式まであと21日となりました。全校一人一人が、お世話になった校舎、仲間、先生方、家族、お世話になったすべてのものに感謝しながら、一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。



2学年だよりより 堂々とした立春式 2月6日(火)

2月6日に立春式がありました。これまで、立春式に向けて一生懸命練習してきた成果が表れ、堂々とした姿で立春式を無事成功させることができました。みなさんの、「笑顔」と「積極性」はこれから学校の顔となっていく中で必要不可欠です。自分たちの良さを存分に発揮して学校を引っ張っていきけるようになりましょう。保護者の皆様、お忙しい中立春式に来ていただきありがとうございます。おかげさまで無事成功させることができました。これからも、宜しくお願いします。



<2年生の生活ノートから>

- 今日立春式がありました。家でも学校でもたくさん練習していたので、ある程度は自信をもつことができました。実際入ってみるとそこまで人はいないけれど、独特の緊張感がありました。みんな発表を堂々としてしようと頑張れたので良かったです。終わったら自然と笑顔になるような達成感がありました。しかし、ここで満足するのではなく、ここから勝負なので自分で発表した座右の銘を大切にしていって、ここからの生活をよりよいものにできるようにしたいです。
- いよいよ立春式の本番でした。とても緊張しました。僕は、座右の銘の原稿を忘れずに言うことができました。あせらず、ゆっくり言うことができたのでとても良かったです。今までで一番良かったと思います。

3年の学年だよりより 校庭に浮かび上がった『合格』の文字



・・・必要だと思うもの、言われたものは何でも「なりふり構わず」取り組むようにしましょう。そうして手に入れた「合格」は、本当に価値のあるもので、皆さんの一生の宝物になるはずです。中途半端な気持ちは捨て、もう一度気合いを入れ直し、2月を乗り切しましょう。

【3月の主な予定】

- 1日(木) 生徒総会
- 7日(水) 公立後期選抜試験
- 8日(木)～14日(水) 3年特別日課
- 9日(金) 鏡贈呈式
- 12日(月) 同窓会記念品贈呈式
- 13日(火) 3年生を送る会(14:30～15:20) ※
- 14日(水) 3学期終業式
- 15日(木) 卒業証書授与式
- 28日(水) 新年度準備登校日



保護者の皆様、地域の皆様にも多くのご支援をいただきながら、充実した1年が送れたように思います。「終わりを慎む」ということばがふさわしいときです。3年生の晴れやかな旅立ちに向けて、締めくくりをしっかりとしていきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

※ 3年生を送る会は、一般公開です。ご自由にご参観下さい。